

# 高崎市の給水区域と主な浄水場

高崎市の水道は、8つの浄水場（水源を含む）と1つの配水場から5つの水系（給水区域）に分かれて、みなさんの家庭に給水を行っています。

## 白川浄水場

水源：利根川の表流水（群馬用水、現央第一水道受水）  
所在地：群馬郡箕郷町上芝705-1



## 正観寺配水場

水源：利根川の表流水（現央第一水道受水）  
所在地：高崎市正観寺町830



## 剣崎浄水場

水源：烏川の表流水  
所在地：高崎市剣崎町1317-1



## 若田浄水場

水源：烏川の表流水  
所在地：高崎市若田町309-2  
TEL 343-2904



## 水道記念館

所在地：高崎市若田町309-2  
TEL 344-4992



高崎市の水道の歴史や施設についての展示・水道の仕組みを紹介したビデオを見ることが出来ます

【休館日】  
土・日曜日  
祝日  
年末年始

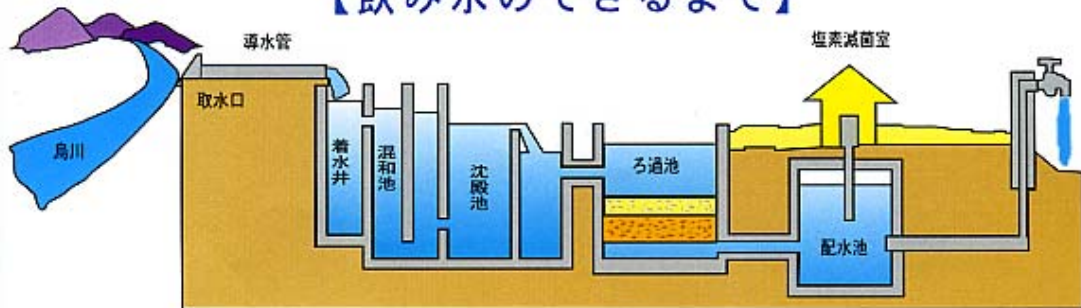
## 乗附浄水場

水源：烏川の表流水（若田浄水場の水）  
所在地：高崎市八千代町4-2-13



## 中島浄水場

水源：地下水  
所在地：高崎市中島町97



【飲み水のできるまで】

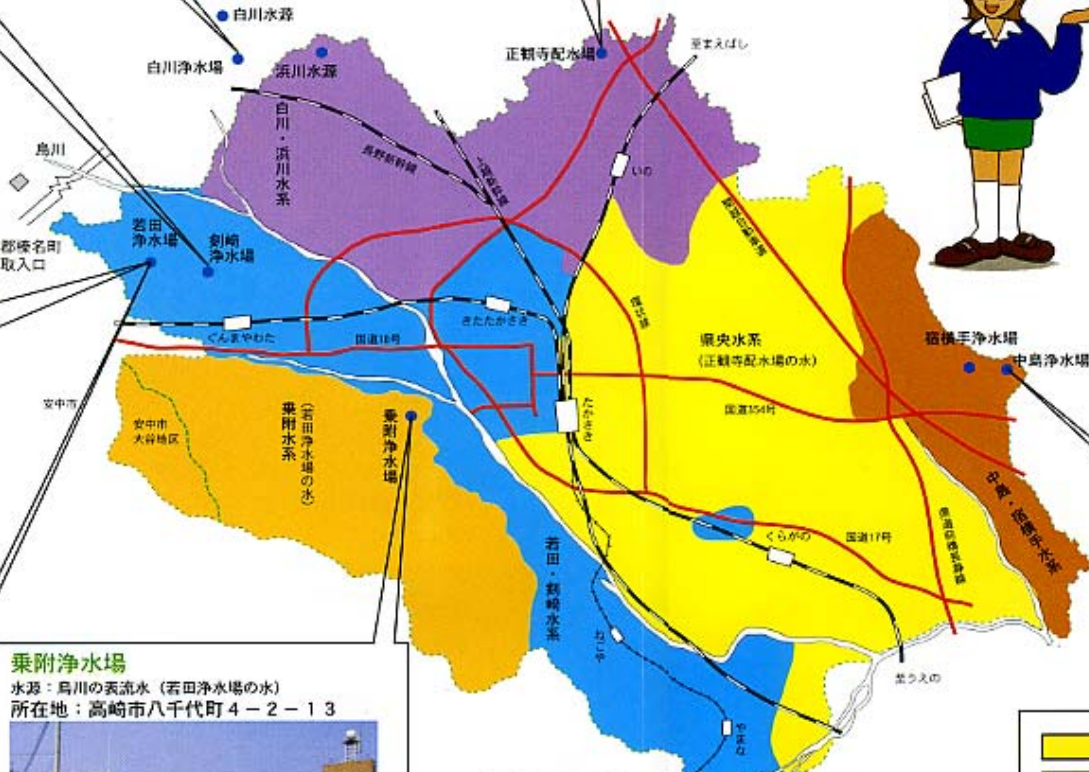
## 浄水方式の違い

かんそく

・**緩速ろ過方式**・・・1日4~5mのゆっくりした速度で水を通し、砂層表面と砂層に繁殖した微生物群や藻の働きによりろ過する方法で、自然の浄化能力を利用し凝集剤を使わずに、おいしい水を作り出します。安定した良質の水道水を得られますが、ろ過速度が遅いために広い面積と砂の削り取りのための人手による作業が必要となります。高崎市では若田浄水場や剣崎浄水場で使用され、約20時間で飲み水になります。

緩速ろ過研究で有名な信州大学の中本教授も、高崎市の若田浄水場や剣崎浄水場の水を「日本一おいしい水」と高く評価し、現在この方式が再び見直され始めています。

・**急速ろ過方式**・・・原水に凝集剤を注入して水中のゴミや汚れをあらかじめかたまりとし、沈殿池で沈めた後にろ過する方法で、緩速ろ過よりも粗いろ過砂を用い、ろ過速度は1日120~150mが標準です。狭い面積で大量の水を処理することが出来ます。全国的に普及し、現在8割がこの方式です。高崎市では白川浄水場などで使用され約2時間で飲み水になります。



ぼくの家の水はどこからきているのだろう？



- 県央水系
- 若田・剣崎水系
- 白川・浜川水系
- 中島・宿横手水系
- 乗附水系